

授業計画（シラバス）

■科 目		<b>保存修復学</b>		■講師名		保坂 誠	
Ⅱ部1学年		後期 10コマ（1コマ90分授業）		総時間 20時間		講義 1単位	
■学修概要 保存修復学の概要を学び、歯牙硬組織に由来する疾患の成立機序や、う蝕などにより欠損した歯牙硬組織の修復（治療）方法について学習する。							
■授業目的、到達目標 保存修復学における歯牙硬組織疾患の診査・診断・治療の手順と歯科衛生士の役割について修得する。							
■授業方法 講義							
■教科書（書籍名・出版社） 歯科衛生学シリーズ 「保存修復学・歯内療法学」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版刊							
■成績評価・講義上の注意 定期試験、出席率、授業態度の総合評価							
■実務経験 歯科大学保存修復学講座で臨床、教育を行った後、歯科衛生士校で教育を長年にわたり担当してきた。また、臨床経験を活かし歯科臨床研修医の教育・指導に携わっている。							
■授業計画（講義の流れ）							
1	保存修復の概要、硬組織疾患						
2	窩洞と保存修復治療						
3	保存修復治療の準備						
4	コンポジットレジン修復（1）						
5	コンポジットレジン修復（2）						
6	セメント修復、歯の漂白						
7	間接法修復（1）メタルインレー修復						
8	間接法修復（2）セラミック/ハイブリッドセラミックインレー修復、CAD/CAM インレー修復						
9	ベニア修復、合着材および接着材、アマルガム修復、補修修復、歯科衛生士の役割、まとめ						
10	定期試験、解答解説						